

令和7年度家庭教育支援者研修会

主催：岡山県教育委員会

【目的】

管内各市町村で活動中の家庭教育支援チーム関係者や、「親育ち応援学習プログラム」ファシリテーター等が一堂に会し、講演及び情報交換等をとおして、家庭教育支援チーム関係者やファシリテーターの資質向上及び、支援者同士のネットワークの構築等を図り、各市町村における家庭教育支援の充実に資することを目的とする。

○日時：令和7年7月15日（火）

13：30～16：20

○場所：津山市中央公民館

○日程

13：30～13：40 開会行事

13：40～15：10 講演

「家庭教育支援者として理解しておきたい性教育」

講師 助産師 東海林 みゆき 氏

15：10～15：20 休憩

15：20～15：50 他市町村との交流・情報交換

15：50～16：15 各市町村での協議

16：15～16：20 閉会行事



『包括的性教育』に取り組まれている東海林みゆきさんを講師にお招きし、ご講演いただきました。『包括的性教育』とは従来の性教育だけではなく人間関係、ジェンダーへの理解、性的多様性、人権など、より幅広いテーマを扱う教育のことです。従来の性教育では「正しい知識」のインプットに留まりがちでしたが、そもそも『自分のことを大切に思える』その土台づくりが重要とのこと。

性教育を行う際の“恥ずかしさ”や“偏見”をゆるめていくこと、『いのちって、自分って大切なんだ！』をうわべだけの言葉ではなくそれを実感できるように子どもたちに伝えていくことが大切です。

後半のグループ協議では各市町村の取組を交流しました。他の自治体が行っている手法を参考にして自分たちのチームにも取り入れたことで活動が活発になったという話も伺えました。

参加者の声

○世界中でただ1つの設計図でできている私たち。

「いのちって、自分って大切なんだ！！」を伝えていきたいと思います。

○受精卵の小ささに驚きました。あなたも私も唯一の存在としていろいろな出会いに改めて感謝です。

○包括的性教育という言葉を知りました。幸せに生きるための土台の部分だと分かり、今までやってきた自分の性教育で伝えきれてなかったことはこれだったんだと思い当たりました。

○東海林さんのお話を聞いた中学生の感想が心に響きました。「自分を大切にしてい」と感じて、行動する子どもたちが育ってほしいと改めて思いました。

○子どもが自分のことを大切に思うことで他人のことも大切に思うことができ、思いやりの輪が広がっていく。自分のことを大切に思うことができるように寄り添っていきたく感じました。

○他の家庭教育支援チームの活動を知り、いろいろな活動があることを聞くことで学びになりました。